

広島市植物公園

見どころ案内

大温室でみられる主な果実
 ハニラ、カカオ、ペニノキ、ソーセージノキ、ミラクルフルーツ、バンジロウ、タマゴノキ、ユーゲニア・メガカルパ、ゴレンシ、マニラアサ、ボーンバナナ、パパイヤ、マウンテンパパイヤ、ココヤシ、コーヒーノキ

ヒイラギモチ (モチノキ科)
 英名はチャイニーズホーリー。赤い実の付いた枝はクリスマスの装飾に用いられます。

ドラゴンフルーツ (サボテン科)
 中南米原産。花は夜に咲き、芳香があります。スペイン名はピタヤ、中国名は火龍果で、和名は中国名直訳です。

レッドパイナップル (アナナス科)
 南米原産。食用ではなく、観賞用のパイナップルのなかまです。

シシユズ (ミカン科)
 大型の柑橘類で、ユズではなく、ブンタンのなかまです。正月飾りなどの観賞用に主として用いられます。

ホルトノキ (ホルトノキ科)
 平賀源内がオリーブと混同してポルトガル由来の木の意味でホルトノキの和名が付きしました。

ハンカチノキ (ミズキ科)
 白い花がハンカチを広げたように見えるので、ハンカチノキや別名でハトノキと呼ばれています。

ナンキンハゼ (トウダイグサ科)
 白い実は木蠟(ハゼノキ)の代用になります。名前はハゼですがかぶれることはありません。

ハゼノキ (ウルシ科)
 白い実は油分が多く、和ろうそく(木蠟)の原料になります。カラスやムクドリなど鳥の好物で、種子は鳥散布です。

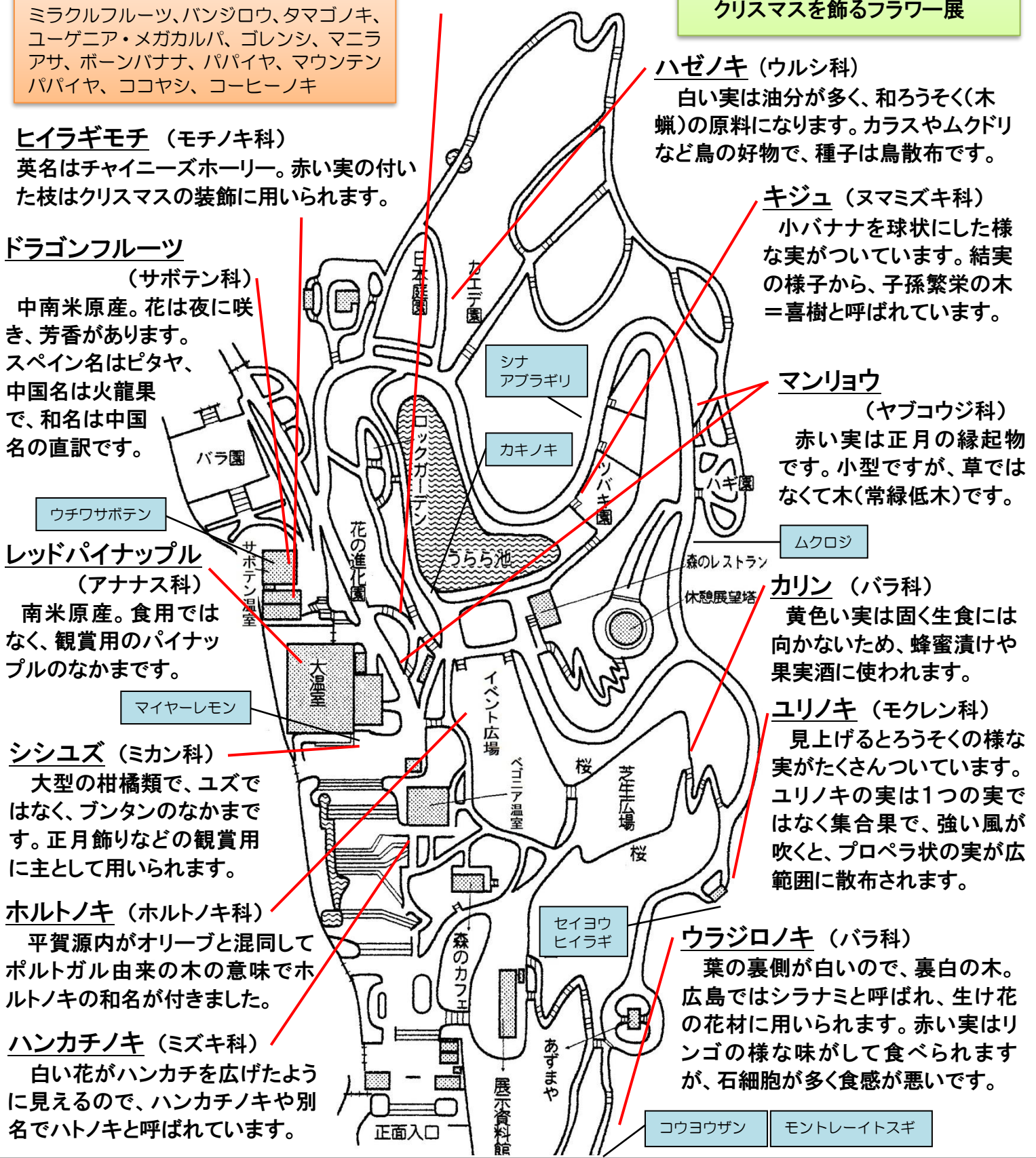
キジユ (ヌマミズキ科)
 小バナナを球状にした様な実がついています。結実の様子から、子孫繁栄の木=喜樹と呼ばれています。

マンリョウ (ヤブコウジ科)
 赤い実は正月の縁起物です。小型ですが、草ではなく木(常緑低木)です。

カリン (バラ科)
 黄色い実は固く生食には向かないため、蜂蜜漬けや果実酒に使われます。

ユリノキ (モクレン科)
 見上げるとろうそくのような実がたくさんついています。ユリノキの実は1つの実ではなく集合果で、強い風が吹くと、プロペラ状の実が広範囲に散布されます。

ウラジロノキ (バラ科)
 葉の裏側が白いので、裏白の木。広島ではシラナミと呼ばれ、生け花の花材に用いられます。赤い実はリンゴのような味がして食べられますが、石細胞が多く食感が悪いです。



展示会のご案内

- ◇展示資料館 (10/31~12/24) 被爆樹木展 75年目の記録
- ◇展示温室 (11/21~12/24) クリスマスを飾るフラワー展